

<序文>



本市は、市域の約半分を山岳部が占めており、多種多様な野生動植物が生息・生育する自然の宝庫になっております。また、平野部においても、豊かな田園地帯や美しい平地林が広がり、那珂川・簗川を中心に清らかな水辺環境を有し、人と自然が共生する場になっております。

一方で、本市は、日本全体が人口減少社会に突入した現在においても、恵まれた交通条件等を備えていること也有って、人口・世帯数ともにわずかながら増加を続けているとともに、右肩上がりの経済成長が終焉したといわれる近年においても、各種開発による宅地化も増加傾向にあります。

したがって、本市としては、那須塩原市を象徴するこの豊かな自然環境を保全し、後世に引き継ぐ責任性を認識し、「第1次那須塩原市総合計画」において「人と自然がふれあう やすらぎのまち 那須塩原」を将来像に掲げ、市のまちづくりを推進するにあたっては、「自然環境の保全」を主要施策に位置付けているものです。

そのためには、先ずは、全市的に野生動植物の種類、生態、分布等を具体的かつ即地的に調査し、把握することで、本市の自然環境の実態を明らかにする必要があり、この動植物実態調査事業は、「自然環境の保全」の観点から、市の課題解決に向けた取組を補完し、推進するものです。

本事業は、旧黒磯市において平成5年度から始まった取組であり、黒磯地区(旧黒磯市管内)では調査が行われていましたが、西那須野地区(旧西那須野町管内)及び塩原地区(旧塩原町管内)では実施されていなかったことから、旧黒磯市の取組を引き継ぐ形で、合併後に「那須塩原市動植物調査研究会」を設置し、平成17年度からこれまで両地区において野生動植物の実態調査に努めてまいりました。

その結果、今回の調査においては、研究会の委員各位を中心とした関係者の皆様方から多大なる御努力を賜り、実に5,593種にも及ぶ野生動植物を調査し、その中では数多くの希少種も確認し、その成果を報告書としてまとめることができました。

本市といたしましては、今後、これらの貴重な調査成果を踏まえ、実際の市の自然保護対策に向けた取組の基礎資料として具体的に活用してまいりたいと考えております。

最後に、この調査報告書の策定にあたりましては、研究会の委員各位をはじめ、多くの専門家、関係機関・団体の皆様方に御協力、御支援を賜っております。深く感謝を申し上げます。

平成22年3月

那須塩原市長 栗川 仁

< 調査にあたって >



平成17年5月に「那須塩原市における動植物の実態を調査研究し、自然保護活動の推進を図ることを目的として19名の委員をもって、那須塩原市動植物調査研究会が設置されました。今回は既に調査済みの黒磯地区を除き、西那須野地区、塩原地区について調査を実施しました。

実施の方法は、黒磯地区と同じようにA地域、B地域、C地域、山岳地域と4地域に分け、5か年で、県の希少種はもとより本市として保護を必要とする種について調査して報告書にまとめることにしました。この調査地域は、塩原地区の標高1,800mを超える山岳部から西那須野地区一区町の扇状地の先端に近い標高150mまで、標高差がかなり大きく、生態系も異なる地域に亘るものでした。

調査にあたっては、植物部会、動物部会(哺乳類・鳥類)、動物部会(爬虫類・両生類)、無脊椎動物部会(昆虫)、魚類部会の計5部会の調査研究部門を設置し、実施しました。それぞれの部会では過去の記録をもとに、さらに、上乗せするような努力をいただきました。特に、宇都宮市、大田原市など、本市以外から足を運んでいただき丹念に調査いただきましたことを大変有り難く思っております。

この調査地域は、日光国立公園や自然環境保全地域として指定されている地域もあり、また、栃木県自然環境基礎調査の結果提言され、次のように「2005レッドデータブックとちぎ」に載せられている豊かな生物相や景観がある地域でもあります。

- ① 塩原渓谷の景観
- ② 高原火山の景観
- ③ 那須野が原の地形
- ④ 塩原渓谷の自然植生
- ⑤ 高原山の自然植生
- ⑥ 大佐飛山の自然植生
- ⑦ 河川礫原植物群落

この調査により豊かな自然、豊かな生物相、多様な景観が明らかになればとの思いで、委員の方々と調査いたしました。

その結果、「2005レッドデータブックとちぎ」に未記載の種、記載地のなかつた種や本市としての生物相の現況、保全すべき種、保全すべき地域、保全への提言をまとめることができました。

特に、掲載種5,593種、保全すべき種278種、注目すべき種73種とかなりの種が記載できました。黒磯地区の調査に比較して、鳥類、昆虫類、貝類が多く記載することができました。

その種の中には、ヒメフキバッタやニトベギングチのように栃木県で初めての種、ヤナギベニモンツノカメムシのようにオオバヤナギと切っても切れない種があり、オオバヤナギの生態系を大切にしなければならない種もありました。また、トモンハナバチのように営巣場所が見つかり、その保護に至った種もありました。一方、カワウのような魚食性の大形な鳥類と淡水産の魚類との生態系の変化も見逃せなくなっています。

この調査で明らかになりました素晴らしい自然景観、豊かな生物相、林野庁森林管理署が指定した「日光・那須塩原緑の回廊」の山岳地の景観、豊かな平地林が、今後の開発でも十分に配慮されることを念願するとともに、この報告書が生かされることを期待したいと思います。

なお、この調査は5か年間(実動4年間)という短期間に、かなり広範囲の調査でしたので、調査が十分に行えなかった地域もあります。このようなことから、さらに時間を掛け内容を深めていただければ幸いと思います。

最後になりましたが、この調査に当たり心よく便宜を与えていただきました地域の方々、御協力いただいた各関係機関の方々に深く感謝申し上げます。

平成22年3月

那須塩原市動植物調査研究会会長 酒井 芳男

<名簿>

※敬称略

■那須塩原市動植物調査研究会委員

部会	氏名	現職又は職歴
植物部会	星 忠直	元黒磯市動植物調査研究会会长
	酒井 芳男 (○)	前那須塩原市環境審議会副会長
	三森 房義	黒磯環境ボランティアの会理事
	原島 徳一 (☆)	那須塩原市環境審議会副会長
	千葉 衣子	那須野が原の自然調査会会員
	中川 幸夫	黒磯環境ボランティアの会副会長
動物部会 (哺乳類・鳥類)	遠藤 孝一(○☆)	オオタカ保護基金代表・日本野鳥の会栃木県支部副支部長
	平野 敏明	NPO法人バードリサーチ研究員
	小堀 政一郎	オオタカ保護基金理事
	君島 昌夫	オオタカ保護基金理事
	野中 純	オオタカ保護基金副代表・日本野鳥の会栃木県支部幹事
動物部会 (爬虫類・両生類)	君島 章男 (☆)	第2期ごみ処理建設に伴う動植物保全保護検討委員会委員
	刈部 敬子	塩原温泉ビジターセンター運営協議会職員
無脊椎動物部会 (昆虫)	渡邊 忠雄 (○)	黒磯環境ボランティアの会理事
	片山 栄助	元栃木県農業大学校主任教授
	松村 雄 (☆)	とちぎ昆虫愛好会幹事・那須野が原の自然調査会会員
	佐藤 光一	とちぎ昆虫愛好会幹事
魚類部会	菅 政幸 (☆)	元那珂川漁業協同組合北部黒磯支部役員
	黒羽 寿雄	元那珂川漁業協同組合北部黒磯支部役員

○会長、○副会長、☆部会長又は総括担当委員

■調査報告書執筆者（委員・事務局を除く）

部会※	氏名	現職又は職歴
(地形・地質)	伴 敦志	那須町立田代小学校教諭
無脊椎動物部会 (昆虫)	渡辺 剛	とちぎ昆虫愛好会会員・那須野が原の自然調査会会員
	多和田 潤治	那須野が原博物館主任（学芸員）

※「地形・地質」の項に関しては、部会を設置していないため、外部の専門家として伴敦志氏に御担当いただいた。また、「昆虫」の項に関しては、対象種数を考慮し、外部の専門家として渡辺剛氏並びに那須野が原博物館の多和田主任にも御担当いただくとともに、那須野が原博物館の関係各位には、本書の策定全般に対して御支援いただいた。心よりお礼申し上げたい。

■事務局…那須塩原市生活環境部環境管理課

<協力者、協力機関・団体>

関係者、関係機関・団体の皆様方には、当調査報告書の策定に当たって、現地調査、資料の提供、種の同定及び原稿への各種アドバイス等において、多大なる御支援、御協力を賜った。

心よりお礼申し上げたい。

※敬称略、五十音順

I 那須塩原市の概要

【協力機関・団体】

大田原地区広域消防組合消防本部

II 植物

【協力者】

石山幸一（塩原温泉ビジターセンター パークコンダクター）
印南光暢（塩原温泉ビジターセンター）
千葉保昌（元旭硝子㈱環境管理室長）
細井康弘（塩原温泉ビジターセンター）

【協力機関・団体】

那須野が原の自然調査会

板垣喜美子（那須野が原の自然調査会）

小林誠（塩那森林管理署中塩原森林事務所）

平山政昭（塩原温泉ビジターセンター パークコンダクター）

III 哺乳類

【協力者】

飯沼寛寿
上條（安井）さち子
塙田英晴（畜産草地研究所（御代田研究拠点））
松田奈帆子（栃木県県民の森管理事務所）

【協力機関・団体】

栃木県大田原土木事務所
栃木県県民の森管理事務所

大根田賢司

斎藤理

林光武（栃木県立博物館）

栃木県環境森林部自然環境課

栃木県立博物館

IV 鳥類

【協力機関・団体】

塙那森林管理署

日本野鳥の会栃木県支部

V 爬虫類・両生類 一

VI 魚類 一

VII 昆虫

【協力者】

安齋（岡崎）真理子（福島県郡山市）
市毛勝義（双翅目談話会）
井村治（畜産草地研究所）
上野隆平（国立環境研究所）
落合和泉（とちぎ昆虫愛好会）
金井海生（那須塩原市）
川口正三（大田原市ふれあいの丘自然観察館）
君島由紀（那須塩原市）
小林教太（とちぎ昆虫愛好会）
篠原明彦（国立科学博物館）
諏訪正明（北海道大学名誉教授）
高野名保子（とちぎ昆虫愛好会）
千葉保昌（元旭硝子㈱環境管理室長）
戸山魁（大田原市）
内藤親彦（神戸大学）
中村剛之（弘前大学白神自然観察園・元栃木県立博物館）
橋本説朗（那須塩原市）
春山直人（栃木県農業試験場）
古内伊子（那須野が原の自然調査会）
前原諭（とちぎ昆虫愛好会）
村尾竜起（福岡県福岡市）
吉澤和徳（北海道大学）
吉田睦浩（中央農業研究センター）
渡辺剛太郎（さくら市）
板垣喜美子（那須野が原の自然調査会）
稻泉三丸（とちぎ昆虫愛好会）
祝輝男（双翅目談話会）
岡部寛一（那須野が原の自然調査会）
影沢信彦（双翅目談話会）
上條一昭（北海道美唄市）
木下清治（那須塩原市）
倉橋弘（国際ハエ類研究所）
三枝豊平（九州大学名誉教授）
鳴洪（九州大学名誉教授）
園部力雄（とちぎ昆虫愛好会）
田川勇治（奈良県天理市）
寺山守（東京大学）
戸山拳士朗（大田原市）
中村和夫（宇都宮大学名誉教授）
中山晶壹（那須塩原市立横林小学校）
羽田義任（福井県大野市）
樋口弘道（とちぎ昆虫愛好会・元栃木県立博物館副館長）
前田泰生（島根大学名誉教授）
増淵余一（とちぎ昆虫愛好会）
山村森（千葉県柏市）
吉田浩史（兵庫県神戸市）
渡辺恭平（東京農業大学）
渡辺好子（さくら市立鷺宿小学校）

【協力機関・団体】

栃木県立博物館

VIII 貝類

【協力者】

黒住耐二（千葉県立中央博物館）
古野勝久（栃木県立博物館）

【協力機関・団体】

栃木県立博物館